

'09年9月19日富士山観望会

by kuma

9月19日。今年3度目の富士宮口五合目に行ってきました。

今回は丹星から11名と常連メンバーに加え、私のblogにもよくコメントを寄せて下さる北杜の犬さんもはるばるやって来てくれました。

現地到着は17時過ぎ。既にドブが2台設置されており、その後も続々と天文ファンがやって来ました。私も最深部に陣取りドブを組み上げて夜が更けるのを待ちます。



Photo kuma

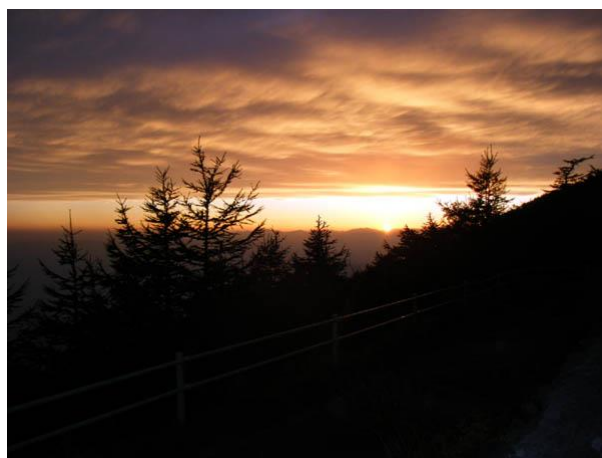


Photo kuma

南アルプスに沈む夕日の様子。

天気予報に反して生憎と全天曇りでしたが、日没の頃には西の空から晴れ間が見え始めています。この後の晴れ間を期待しましたが、結局日没後も曇りのまま。せっかくの新月時でもあるのでこのまま粘って待機。当然の如く酒盛りの開始ですね。🍷

今日は台風一過を期待したのですが、予想以上にスピードが遅くまだ関東の南海上に居座っていた影響で、待機中もずっと強風が吹き荒れていました。幸い冷え込みも大したこともなく体温を奪われる心配も無用でしたが、時折舞う砂埃が酷く目を開けていられないほど。ドブも風下側に向けておかないと風で動いてしまうほどで、砂埃の影響が心配です。

夜半前には北杜の犬さん始め半数以上の方が撤収して行かれましたが、私は残った仲間とテーブルを囲んでそのまま待機。酒盛りを継続しつつも量は抑え目に。

夜半頃からようやく薄雲越しに星の光が見え始め、25 時頃には南西の空から雲が切れて星空が見えてきました。全員待ってましたとばかりに一斉に筒先を向けます。手始めに南西低空の木星を観たところ、これがまた酷い像でシーイングもボロボロ。夏の大三角付近も同様に、結局一晩中低倍率しか使えない何とも悲しい空。それでも網状星雲、h&χ、秋の DSO を幾つか流し、残ったメンバー全員で夜明けまで完走しました。夜明け前には integral sign にもチャレンジしましたが欠片すら見えず。他も特に目新しい発見もなく収穫の少ない一夜でしたが、まあボウズにならなかっただけでも良かったのかな。とりあえず粘り勝ちと言う事しておきます。



Photo kimura

撤収前の最後の記念撮影。

夜明けを待って撤収準備を開始。ドブのロッカー隅には一夜分の砂が溜まっており、軽く叩き落してから収納。5時半には残ったメンバー全員で撤収となりました。

帰宅後軽く睡眠をとった後、車から機材を降ろし清掃を兼ねてメンテナンスをやりました。ロッカー部のテフロンチップもサンドペーパーで入念に磨いたところ、生まれ変わったの如くスムーズな動きが蘇りました。これで高倍率の追尾も大丈夫でしょう。

今回はやや不満の残る結果でしたが、せつかくの新月時なので連休中チャンスがあれば再度観望する予定です。

了